

# きのと小だより

## 燦

合言葉：みんなで力を合わせて、子どもの方をしっかりと向いて、  
大事に大事に育てましょう。 平成 28 年 2 月 1 日 17 号

### 力を尽くす 同志

校長 金子 智

1 月 24 日の日曜日、一日中雪が降っていました。まさかこんなに大雪になるとは思いませんでした。用を足して夕方家にもどったら、小路が雪で埋まり車が入れません。除雪車が来てくれたのはあたりがすっかり暗くなってからでした。

- 次の月曜日いつもの通りに学校に向かいました。道路はきれいに除雪されており順調でした。ところが学校の入り口を除雪された固い雪がふさいでいます。このままでは通学バスが入れません。この日はインフルエンザによる学校閉鎖解除の日です。「バスが来る前に雪をのけなくちゃ」そう思ってスコップを手にししました。大量の固い雪です。一人ではいっこうにはかどりません。他の職員の出勤を待ちながら雪をのけました。のけては休み、のけては休みしながら除雪を続けました。

程なくすると除雪車が来てくれました。「ああ、助かった」そう思いました。ありがたかったです。聞けば教育委員会から「職員の出勤前にバスが入れるように学校の入り口を除雪して欲しいと要請されたから」とのことでした。

教育委員会の方が日曜日の雪の降り方をみて「これは大雪だ。除雪した道路の横は雪の山になる。学校の入り口も雪の山でふさがれる。人の力で取りのけるのは困難だろう。明日では遅い。今のうちに除雪要請をしよう」。きっとそう判断されたのだと思いました。力を尽くしてくださったのだと思いました。

教育委員会の方を向いて頭を下げました。

- インフルエンザが大流行しました。学校医さんの指導を受けて 1 月 19 日から 22 日まで学校を閉鎖しました。1 年のまとめの大事な時期ですが、でも健康には代えられません。決断しました。

学校閉鎖は功を奏し週明けの 1 月 26 日には罹患患者数が 0 になりました。学校閉鎖の恩恵です。子どもたちをインフルエンザから守ることができました。ホッと胸をなで下ろしました。

しかし 4 日間の学校閉鎖で 23 時間分の学習時間を失いました。それを 3 学期の短い期間でとり戻すのは至難の業です。子どもたちに教えなかったり、身につかせないまま進級進学させるわけにはいきません。もはや非常事態です。

どう乗り切るか。職員みんなで知恵を出し合いました。そして「2 月いっぱい 5 時間授業は月曜日だけにして、あとは学年に応じて 6 時間目も授業をする」ことにしました。

この事を子どもたちにもよく話して聞かせました。子どもたちも今は非常事態だと納得して懸命に頑張っています。立派です。

子どもたちと職員と学校をあげて、頑張っています。災い転じて福となしています。

まさかの大雪も、学校閉鎖も、困ったことではありませんでした。子どもたちも、教育委員会も、私たち職員も、「力を尽くす」という点では全く同じだ、同志だと確認させてくれました。

清澄な 一面の銀世界です。